



なばり

2016年(平成28年) 6月10日号

主な内容

- 2……移住・定住を支援
- 3……パブリックコメント
- 4……特定健診・特定健診プラス、後期高齢者健診
- 7……施設ご利用ガイド
- 8……なばり産業フェア開催

発行 / 名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 ✉ pr@city.nabari.mie.jp 🌐 http://www.city.nabari.lg.jp

「肩にギフチョウが止まっているよ!」ギフチョウ観察会で



あなたは知っていますか? 市指定天然記念物

春の女神「ギフチョウ」



名張市の指定天然記念物になっているギフチョウ。今号ではギフチョウを守る地域の取り組みを紹介します。📍 文化生涯学習室 📞 63-7892



観察会で説明を受ける児童

■春の女神ギフチョウ
市は八幡・夏秋地区に生息するギフチョウを、平成21年に天然記念物に指定しました。
ギフチョウはアゲハチョウより小さく、春の少しの間だけ姿を見せることから通称「春の女神」と呼ばれています。
ギフチョウの生息域は太平洋側のほぼ南限に位置しています。ギフチョウは、環境省の絶滅危惧種に分類されている貴重なチョウです。

■ギフチョウについて学ぶ

ギフチョウの住む地域にある薦原小学校では、多くの身近な自然を体験して学習する機会を取り入れています。

その一つとして、ギフチョウを観察する授業を地元の自然保護団体の指導を受け、10年前から続けています。

1年を通じてギフチョウの生態や生息する里山の働きなどの観察活動を行い、自

然を守る取り組みを行ったり、学習成果を発表したりしています。
また、自然保護団体は、学校以外にも一般向けに環境イベントとしてギフチョウの住む里山を散策しながらギフチョウの特徴などを学ぶ機会を作っています。

■ギフチョウを守ること

ギフチョウの幼虫は、常緑の多年草である「ヒメカンアオイ」という植物を食べます。ギフチョウが生息する環境を守るためにはまずヒメカンアオイが生息していなければなりません。そのため、地域の人は、里山に入り草刈をしています。日が当たりすぎても育たず、影になりすぎても育たないヒメカンアオイ



ヒメカンアオイの裏にある卵を観察

をギフチョウの卵を観察しながら、手を加えています。
里山は人が手を入れないと荒れていきます。人と自然が共存しつつ、これからは地域でギフチョウが見られる環境を守っていくことが大切です。